

工事写真報告書

工事番号 平成 26 年度

工事名 H様邸

工事箇所 屋根・外壁・その他塗装工事一式

工事住所 小郡市 三沢

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

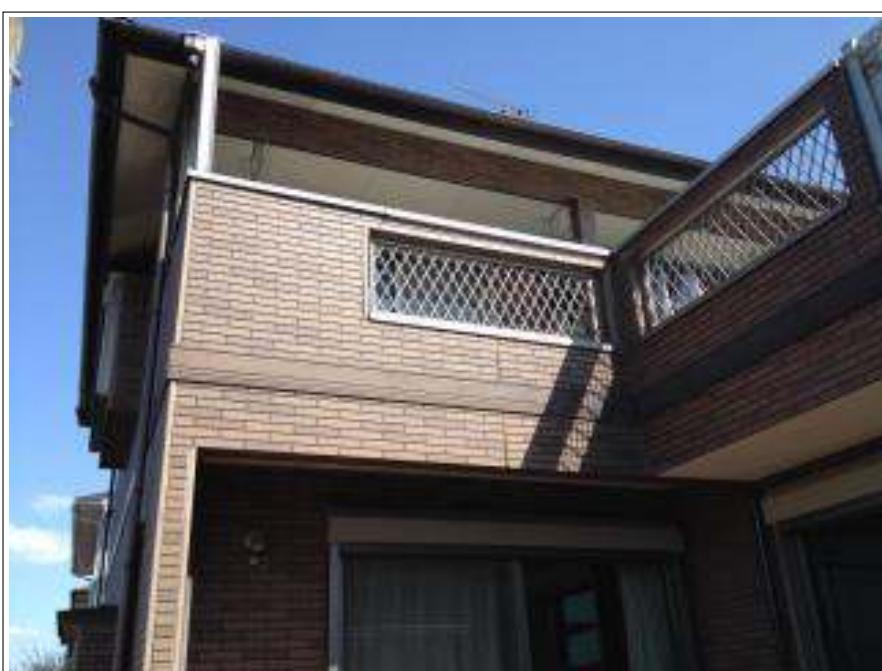
工事施工者 ベストホーム株式会社



外觀



外觀



外觀



外観



屋根

この素材はセメント:ハルフ 繊維(又はアスベスト)が85:15で作られています。

劣化し割れや反りがひどくなり葺き替えとなると、アスベストが入っている場合は処分費がかなりかかりますので、葺き替え前の早めの塗装と維持をお勧めします。



屋根

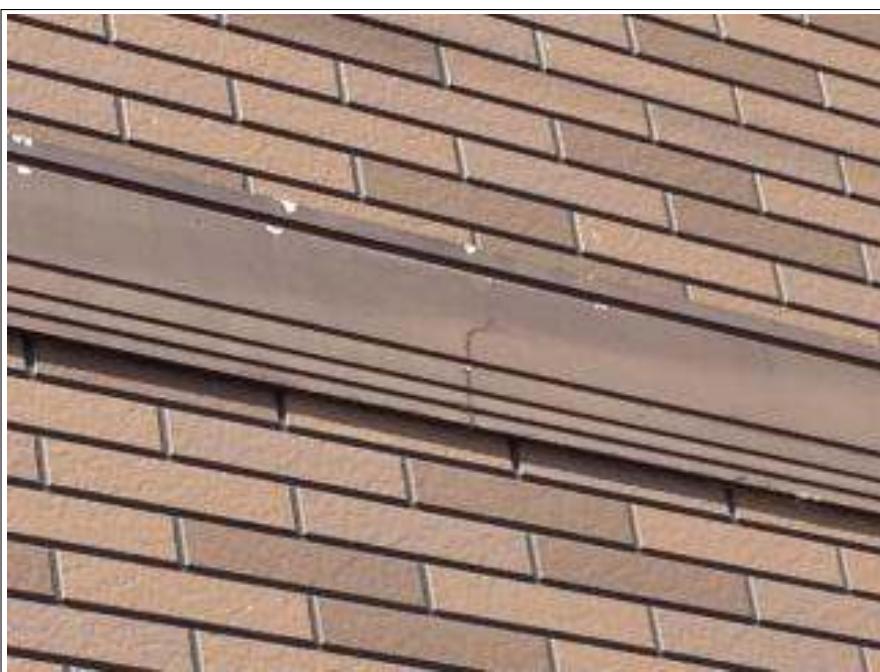
同上



軒天

経年劣化しております。

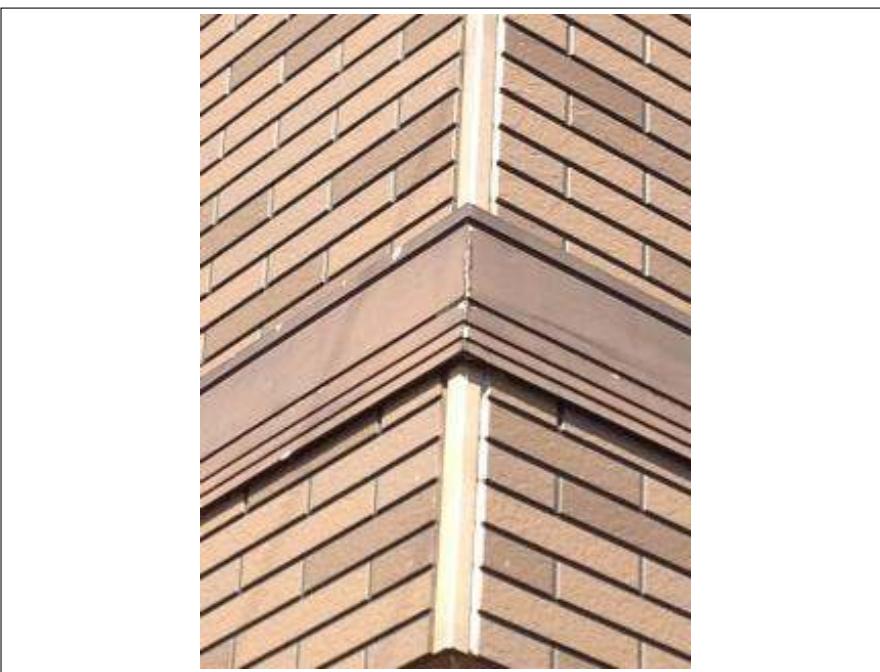
この部分は通気性の良い軒天専用の塗装をしていきます。



胴差し

旧塗膜が剥離をおこしています。

このまま塗装しても旧塗膜から剥がれる恐れがありますので、密着の悪い旧塗膜をケレン作業で除去し専用の下塗り・上塗りを行います。



胴差し

つなぎ目の部分や表面の劣化が目立ちます。

この部分はケレン作業やシーリング補修等で下地処理をおこない、塗装をしていきます。



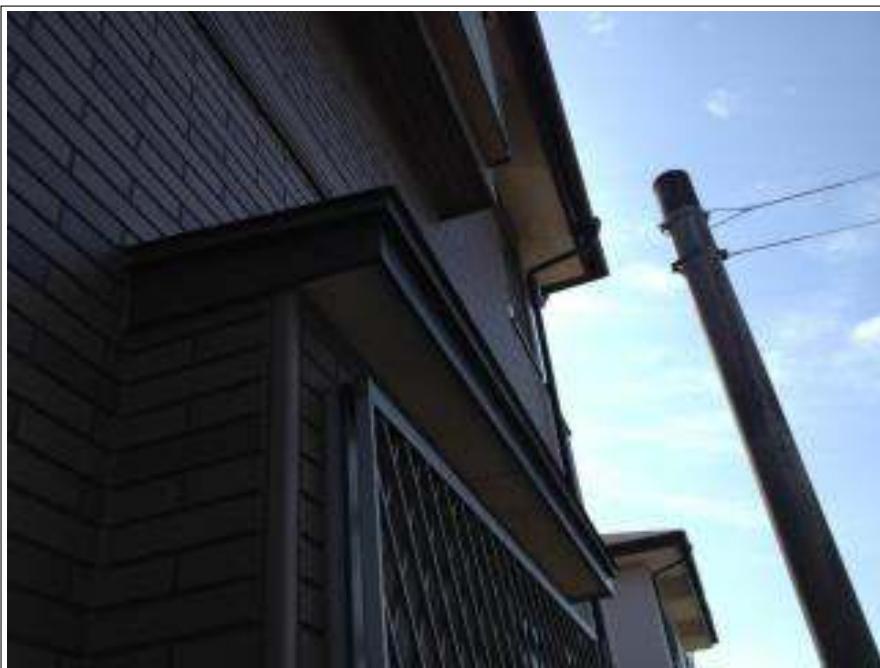
樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。
劣化すると割れが生じたりすること
がありますので、塩ビ専用の下塗り
をおこない塗装をしていきます。



その他配管

同上



小庇

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



小庇

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



シャッター

同上



土台水切り

同上



基礎 クラック

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



基礎 クラック

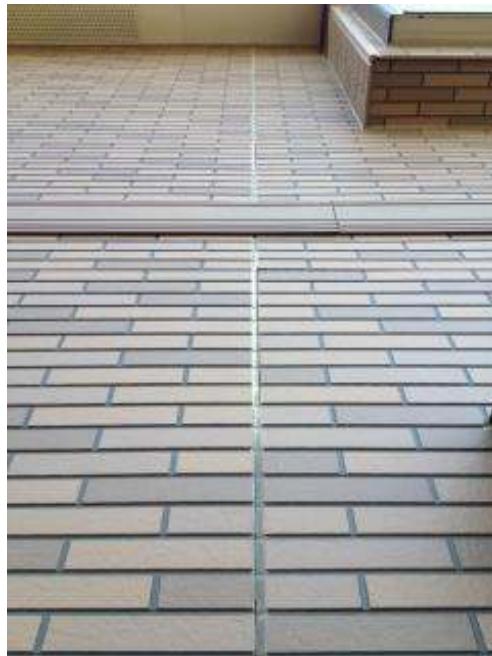
0.03mm以上のクラックは補修が必ず必要です。



チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



シーリング劣化部

シーリングの劣化が激しい部分は打ち替え補修をおこない、塗装をしていきます。

クリア一塗装の場合はボードシーリング部は全面打ち替えをおこないます。（化粧シーリング使用）



シーリング劣化部

シーリングの劣化が激しい部分は打ち替え補修をおこない、塗装をしていきます。



シーリング劣化部

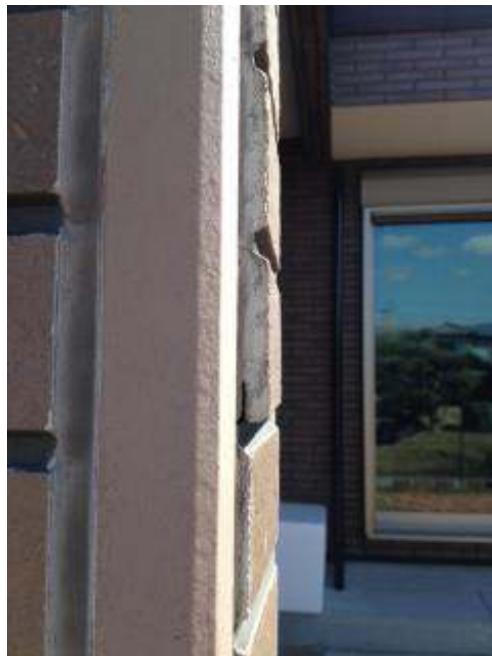
同上



シーリング劣化及び外壁クラック

劣化している部分があります。

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体・ボードの痛みや建物の寿命につながりますので、シーリング等で補修をおこない塗装をしていきます。



外壁 ソリ

外壁の劣化やクラック・シーリングの傷みが原因で外壁が水や湿気を吸って乾いてを繰り返し外壁が反つてしまっています。

反つてしまふと二度と反りは戻りませんので、反りがひどくなる前の塗装をおすすめします。

外壁カビ発生部

カビの発生が見られます。

いくら高圧洗浄をかけても、カビの根が残ってしまいますので、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、下塗り・上塗り二回の三層四工程をおこないます。

